

会 議 録

会議の名称	令和4年度第6回スポーツ推進審議会
事務局	生涯学習部生涯学習課
開催日時	令和5年2月28日(火) 18時30分から20時00分まで
開催場所	801会議室
出席者	会長 田中 幸夫 委員 副会長 本橋 玲子 委員 委員 中川 稔 委員 服部 啓次郎 委員 樋田 和博 委員 檀原 延和 委員 長谷川 貴広 委員
欠席者	委員 野川 春夫 委員 佐藤 里咲 委員
事務局	生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 関 次郎 スポーツ振興担当課長 中島 憲彦 スポーツ振興係主査 岡本 康夫 スポーツ振興係主任 津田 理恵 スポーツ振興係主事 西村 謙太郎 ランドブレイン株式会社
傍聴の可否	可 一部不可 不可
傍聴者数	5
傍聴不可等の理由等	-
会議次第	1 令和4年度・令和5年度 スポーツ推進審議会スケジュールについて 2 第2次スポーツ推進計画の策定について 3 その他
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり
提出資料	別紙のとおり

すでしょうか。よろしいでしょうか。

(2) 第2次スポーツ推進計画の策定ということの議題はあるんですけれども、その議題に移る前に、今回、資料5として、意見・提案シートが配付されております。皆さん、お目通ししていただいて。

本日は、(2)の推進計画の策定というのが答申前の最終回となっておりますので、これをまとめて集中審議してと思いますので、この提案書に関しては、次回に取扱をするということをしてしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。また議会との対応もあろうかと思いますが、意見・提案シートの件は次回ということにしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

田中会長

では、そのようにさせていただきます。

それでは、議題(2)第2次スポーツ推進計画の策定についてということで、事務局から説明をお願いいたします。

津田主任

資料2、第2次小金井市スポーツ推進計画(案)に対する意見及び検討結果についてを御覧ください。

12月15日から1月16日にパブリックコメントを行いました結果、6人の方から24件の御意見をいただきました。表の左側がいただいた御意見、右側が審議会としての回答案です。本日は、こちらについて審議をお願いいたします。また、資料3のパブリックコメント実施前後新旧対照表は、この御意見に対する対応として、計画を変更した内容に加え、文言修正なども含め、パブリックコメント前後の変更箇所を一覧にしたものです。それを反映しました資料4、第2次小金井市スポーツ推進計画(案)が最終的な計画(案)となります。

では、ランドブレインさんから御説明をお願いしたいと思います。

ランドブレイン株式会社

私から、このパブリックコメント意見を踏まえた検討結果という部分のうち、特に計画書の記載内容に係るところをまず御説明させていただきたいと思います。

後ほど、このパブリックコメント意見を見ていただきますと、直

接的な計画に対する御意見以外に、またがるような御意見もございますので、そうした部分については、私の御説明の後、市から改めて御説明させていただきます。

そのため、資料2を中心に説明してまいります。左側の番号順、少し飛ばしながら説明していく部分もございます。よろしくお願いいたします。

それでは、資料2を中心に目を通していただきながら聞いていただければと思いますが、まず、意見のうち、私のほうからは、まず2番の部分について御説明させていただきます。こちらの意見について、前半部分につきましては、市役所建設予定地の広場として残していただきたいという御意見でございますので、これは後ほど市からまた改めて御説明させていただきたいと思いますが、この意見のうち、一番下の部分でございます、子どもの頃の体を使った遊びは、後々、成人してからも生きていく基本となるのではないかという御意見、こちらにつきましては、右側の検討結果でございますけれども、この計画の中でも、基本施策の1-1に当たりますが、子どもの頃から体を使った遊びを通じて、運動・スポーツに親しむことが重要であるという認識は共通しているのかなと思っております。そのため、こちらの意見としては、特段、加筆というところは行ってないという判断をしております。

続きまして、おめくりいただきまして、意見の5番を御覧ください。こちらの御意見は、計画書の見やすさというところに関する御意見だったんですけれども、計画中の年表示について、和暦で表示しているもの、西暦で表示しているものという、表記がそろっていないという御意見ございましたので、本日の資料4につきましては、計画全体を通して、先に和暦を示した上で、括弧で西暦を表示するという記載を全体で整合させております。

続きましては8番を御覧ください。こちらにつきましては、計画の策定過程において行ったアンケート結果に対する御意見でございます。計画中ではお示ししていなかったもので、御意見としては、年代別の回答状況というものを記載いただけると、より現状が分かるかと思うという御意見をいただいております。

こちらにつきましては、当然、年代別の回答状況も含め、分析などは途中行っておりまして、その結果については、計画には載っていないんですけれども、審議会の資料として御用意したアンケート

結果の報告書というところには記載しておりますし、こちらのデータについても市のホームページで掲載されておりますので、そちらについての情報提供をするという形で、計画への、年代別の回答状況の追記というものは行わないという判断をしております。

続きまして、意見の10番を御覧ください。こちらの御意見では、「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」というキーワードに対して、ジェンダー、リプロダクティブヘルス・ライツなど、主に女性ですとかそういった観点での多様性といったところを加筆すべきではないか、欠けているのではないかという趣旨の御意見をいただいております。

こちらにつきましては、御意見のとおり、明確な記載はないというところはあるのかもしれないんですけども、基本方針の1などでは、誰もがスポーツに親しめる環境づくりということで、そうした大きな観点としては有しているのかなというふうに認識しております。その観点で、特段こちらにも計画の追記という対応はしていないんですけども、回答結果にございますように、御意見にあったような性別や属性を問わず、安全で快適に運動・スポーツを楽しめる施策の検討という部分には、御意見を踏まえ、反映させていきたいという考えで整理しております。

次は、11番を御覧ください。これについては、「週に1回以上の運動習慣」という目標の下、計画中でも、働き盛り、子育て世代という形で基本施策を組んでおります20代から50代という層に関しての御意見として、こうした方々の運動・スポーツにおいては、地域につながりがあるかどうかという点が重要なのではないかという趣旨の御意見をいただいております。

こちらに対しての検討計画、右に記しておりますが、御意見いただいた方と同じように、計画のほうでも、アンケートの途中でも結果で出たんですが、約7割の方が「友人・仲間との交流／交友関係の拡大」というものが、運動・スポーツをする理由、動機づけになるという回答をいただいているように、コミュニティへの参加というところが運動習慣の継続に大いに寄与するということは共有できているのかなと受け止めております。

また、計画書の回答の中にも、各基本施策を横断する市の強み、資源として、コミュニティというキーワードも記しておりますので、この意見を踏まえた、特段、加筆というものは不要なんじゃないか

などという判断をして、今後の施策においてもしっかり御意見を踏まえて、コミュニティを活用するとともに、活性化につながる施策の実施をしていくというところには反映させていきたいという整理といたしました。

次は、意見の12番を御覧ください。こちらの御意見につきまして、1行目に記されておりますが、「子どもの運動」という中で、未就学児の身体活動というキーワードが抜けているのではないかと御意見でございました。

こちらにつきましては、確かに用いているデータが、小中学生に関するデータ、アンケート結果というところがございましたので、こういった御意見をいただいたのかなと思っておりますが、こちらの計画の中で記している「子ども」というところは、小中学生に限定したものではなく、御意見をいただいた未就学児というものも含めた施策ということで位置づけておりましたので、こちらも計画としての特段加筆というものは今、行っておりませんが、こうした未就学児も含めた子どもの運動・スポーツができる環境が重要であるというところは、認識についてはしっかりと記して、回答としております。

続きまして、13番を御覧ください。こちら、幾つかの観点にまたがる御意見としていただいております。

まず上段、一番最初の段です。こちらですと、運動・スポーツを面倒くさい、忙しいという理由で消極的になっている方というハードルをどう克服するかの対策が重要なのではないかとこのところをまず記していただいております。現状の取組、御意見の方の認識としては、イベントというところを中心に御記載をいただいているんですが、ここをもう少し工夫しなければ、そうしたハードルを越えていくのは難しいのではないかとこの趣旨の御意見をいただいております。

また、そうしたイベントにつきまして、真ん中の部分に入りますが、イベントを通して、地域でのつながりがどの程度広がったり、充実するかという観点が重要なのではないかとこの御意見をいただいております。

イベントを年に数回増やすだけというところでは、こうした広がりというものは生まれないのではないかとこの趣旨の御意見をいただいております。

こうしたお考えの下、一番下の部分に少しキーワードをいただいておりますが、スポーツを通じた地域づくりという観点をもっと前面に掲げるべきではないかという御意見をいただいております。

こちらに対する回答案を右に記しておりますが、まず、そうした運動・スポーツに対してハードルがある方への働きかけにつきましては、基本施策の1-2に対応いたしますが、様々な時期、場所、時間帯において、気軽に参加し、取り組めるイベントの実施と、さらに情報発信というところで下に入っていきますけれども、地域の多様な団体、人材と連携した様々な広報媒体の活用などによって、そうしたハードルを乗り越えていきたいという考えを記しております。

また、意見の中でいただいている地域でのつながりの広がりという部分につきましては、こうした広報の過程で、様々な団体さんなどが連携することになりますので、そうした連携を通じて、運動・スポーツに今、関わられている方同士のつながりというものが広がっていくのではないかと考えましたので、そうした旨の記載も回答に加えております。

今、地域の外の団体の話などをしましたが、市の庁内という部分におきましても、健康福祉、学校教育といった関連部署間での連携も図りながら、よりよい形の施策を目指すという旨の記載を今回、回答として御用意しております。

続きまして、意見の15番を御覧ください。こちらの御意見につきましては、キーワードとして最初に記しております、「子育て世代の運動・スポーツ活動の推進」というところに絡めて、御意見をいただいた方は、子育てをされている保護者という立場から御意見をいただいているものでございます。

「子育て世代の運動・スポーツ活動の推進」というところについて、子どもと一緒に外出する、運動・スポーツをするということが前提になっている部分があるんじゃないかと。真ん中ほどに、意見として、「自分の個人の希望ですが」というところから始まりますが、例えば、子どもとは別プログラムで、大人である、保護者である自分が運動できる機会のようなものもあるとありがたいという御意見をいただいております。また、親子として運動する場合の投げかけとして、御意見いただいている方が異年齢の複数児の育児中である中で、なかなか参加しにくい。親1人、子1人というプログ

ラムが多いのではないかという御意見などもいただいております。

こうした内容につきましては、計画の中で反映ということはかなり具体的な内容なので、今回はしていないんですけれども、こうしたプログラムをやる際に、こうした御意見というものは反映させて、参加方法等の検討に反映させていきたいと考えております。

続きまして、意見18番を御覧ください。こちらでは、黄金井倶楽部の走り方教室、陸上教室に関する記載に対していただいた御意見でございます。小金井市の陸上競技協会でも東京都のジュニア育成での陸上教室があるという御意見をいただきました。

こうした御意見を反映させ、今回、計画書の中に参考事例として、元旦ロードレースの掲載なども加筆するという形で対応しております。

続きまして、意見の19番を御覧ください。こちらの御意見につきましては、2行目でございますが、運動やスポーツに積極的でない子どもに働きかけるというところに難しさがあるんじゃないかという趣旨の御意見をいただいております。

学校の中、登校している子どもであれば、学校などから、プッシュ型という、提供するという形でアプローチができるけれども、その後、家庭に帰った際などに、積極的でない子どもに働きかけるというところには難しさがあるのではないかという趣旨の御意見をいただいております。また、その背景というところは、必ずしも、お子さんの意欲という部分だけではなくて、御家庭としての収入的な格差というところも影響してくるのではないかなどの観点をいただいております。

こうしたところについて、こちらもいただいた御意見というところは関連部署と共有するということ、また、先ほどのプッシュ型という取組の一環でもございますが、FC東京のコーチが市内学校に出向き、出前授業を行うといった取組も今後も実施していくという旨の回答と。そのほか、御意見を踏まえ、様々な運動・スポーツに触れる機会の充実というところを反映させていく旨、回答案を記しております。

続きまして、意見の20番を御覧ください。こちらは、計画の目標値に対する御意見でございます。計画中で、市のスポーツ施設利用者数の目標値を位置づける中で、将来の利用者数の目標値が「維持」とされているところは違和感を感じるという御意見でございます。

す。

市民一人一人につきましては、週に1日以上運動を継続する割合の上昇を目標として位置づける中で、そうした方が増えていくのであれば、市のスポーツ施設利用者数といったものも増加していくのではないかとこの趣旨の御意見をいただいております。

それに対する回答、検討結果でございますが、スポーツ施設単体の目標値というだけでなく、今回は、そうした施設以外の部分での既存の、学校であったり、公園であったりといった施設の活用といったところも考えておりますので、そうした場での運動・スポーツが増える結果、市民の運動割合の上昇を想定しておりますので、その関係で、施設の利用者数といったところは「維持」になっているという考えを記しております。

続きまして、意見の23番を御覧ください。こちら意見としては長い内容になっておりますが、少し御説明をさせていただきます。計画の53ページ、54ページ、後段の中で、関係する主体の役割というものを記しておりますが、その中で、黄金井倶楽部や体育協会などの役割ということで、地域コミュニティ醸成の役割、スポーツ推進委員につきましては、企画の立案やコーディネーターとしての役割というものを記した中で、そうした知見や経験といったものをしっかりと、次の段になりますけれども、リスクリソング・リカレントということで継続的に学び直していくことが必要なのではないかという趣旨の御意見をいただいております。

真ん中の段からは内容が変わりまして、中学校の部活動の地域移行につきまして、移行する受け皿となる地域というところにしっかり力がなければうまくいかないのではないかとこの御意見をいただいております。こうしたものが共通する観点としてのスポーツを通じた人づくり、地域づくりといったところには、しっかり検討をお願いしたいという趣旨の御意見をいただきました。

こちらの検討結果につきましては、まず、そうした経験と技術の学び直しといったところはしっかり努めながら、地域コミュニティ醸成につながるスポーツ振興を図っていく考えを記しております。

次に、中学校運動部活動の地域移行につきましては、子どもたちが適切な指導、サポートを受け、安全で快適に運動・スポーツを実施できるよう、地域、関係部署と連携して取り組むという回答を記しております。

最後の「スポーツを通したひとづくり、地域づくり」に関する検討結果として、イベント等の開催において、本市の強みである豊かなコミュニティを生かして、地域の多様な団体、人材と連携して、体制の充実を図っていくという内容を基本施策の3-2に記しているということ、こうした連携を通じて、スポーツを通した地域づくりの担い手となる人材発掘、担い手間のネットワークの構築を実現して、さらなるスポーツを通じた地域づくりの実現を図るという考え、また、意見の中で、渋谷区の事例紹介などもいただきましたので、そうしたものもしっかり学びながら反映させていくという旨を記しています。

意見の24番を御覧ください。こちらの御意見としては、意見された方が感じている所管として、最近、街なかに、エクササイズに関連施設が増えてきているのではないかということ。次に、一方でというところが続きますが、猛暑日の増加や学校のプール施設の不具合で、学校の水泳の授業が少なくなる。マスクなしで密になる習い事を避けるなどにより、お子様の運動機会といったものが減っているのではないかという御意見をいただいております。

こちらにつきましては、検討結果ですが、御意見の方の認識のとおり、計画の中でも、小中学生の新型コロナウイルス感染症拡大前後において、体力テスト結果の微減の傾向、運動時間の減少など、お子様の運動・スポーツに触れる機会の減少といったものは、御指摘のとおり、計画でも認識しているのではないかというふうに受け止めました。

それに関連して、基本施策の1-1を位置づけ、中学校運動部活の地域移行への対応などにより、生涯にわたって豊かな人生を送る基盤づくりを図るところは、御意見いただいた方の認識と共有できているのかなというふうに思っておりますので、こちらも計画としての特段の加筆は行っておりませんが、共有できているのではないかという旨の回答案を記しております。

少し飛ばしている部分もありますが、特に計画に関する御意見の説明は以上とさせていただきます。

最初に御説明がありましたが、こうした意見を踏まえた計画書の反映につきましては、資料3を御覧いただければ確認することができます。資料3の表の右の部分に、パブリックコメント意見番号というものがございます。こちらの番号が今、資料2で読み上げた番

号と対応しております。この番号、意見を踏まえて、計画書では、こうした修正を行っておりますという対応関係が、資料3を見ていただければ確認できますので、併せて御確認ください。

私からの説明は以上とさせていただきます。

津田主任

続いて、スポーツ振興係から、市への要望等、残りの部分について御説明いたします。

まず、資料2の最初に戻り、1番を御覧ください。パブリックコメントの御意見の募集方法について、計画のどの場所について、どのような意見が欲しいのかといった観点で回を分けるなどしてほしいといった御意見です。こちら、市の全般にわたるものであるため、御意見を共有させていただくという回答案としております。

続いて、2番の市役所建設予定地を今のまま残していただきたいという御意見については、関連部署と共有させていただくとしております。

続いて、3番、計画案に野川駅伝大会が掲載されているが、小金井市陸上競技協会さんでも、陸上のイベントを開催しているので、市報の掲載や開催場所の確保で同等のサポートが欲しいという御意見です。市報の掲載方式や場所の確保において、限られたスペースを分け合うことから、委託事業、後援事業で差が生じてしまっているのですが、陸上競技協会さんは市のスポーツ振興に利用していただいております、今後も協力・連携していきたいという回答案としました。

6番を御覧ください。陸上競技協会さんのイベントの場所の確保に苦労されているといったお話の後、校庭の利用の窓口について、平日は学校、休日は市となっており、一本化できないかという御意見です。こちら、校庭の利用の窓口となっている部署、関連部署と御意見を共有させていただきたいとしました。

7番を御覧ください。陸上競技協会加盟の陸上クラブの市内の公園の使用ができなくなっているのを、使用できるようにしてほしいとのことと、中学校の部活への外部指導員の参加の強化を行ってほしいという御意見です。

前半の御意見については、関連部署、市立の公園を管理する部署と共有するということと、後半の御意見については、運動部活動の地域移行を考える中で、外部指導員の参加について検討してまいり

ますという回答案としました。

9番を御覧ください。郵送のアンケートに加えて、Webでのアンケートを実施したことがよかったので、今後、ほかの課でも実施するよう、市民参加のガイドラインなどのアップデートを検討してほしいという御意見です。こちらも市の全体に関わるため、共有させていただきますという回答案としました。

14番を御覧ください。土曜スポーツクラブが「無料・事前予約不要」ということが気軽に参加できてよいという御意見で、市の南西部や坂下地域でも何らかの形で実施してほしいという御意見です。回答案では、市の南西部では、前原小のスポーツ個人開放校があるので、その御紹介と、今後も運動・スポーツに親しむ機会の充実に努めてまいりますとしております。

16番を御覧ください。前半は、本年を最後に、市立中学校の陸上部がなくなってしまうので、陸上部存続のために外部指導員の参加の強化を行ってほしいということと、後半では、地域の大会への参加申込みの際に、学校の許可が必要な場合があるので、中学校の理解、支援のサポートをお願いしたいという御意見です。関連部署と共有するというのと運動部活動の地域移行で、こういった御意見を踏まえて、よりよい形を検討してまいりますという回答案としました。

17番を御覧ください。資格取得者の把握、企業の還元を御提案されています。回答案では、計画案で、スポーツを楽しく安全に続けられるよう、指導者の育成を支援すると記載していることを述べ、資格取得者の情報について、必要な際は、情報を持っている団体等と適宜連携し、調整しますとしております。

21番を御覧ください。総合体育館の卓球台が老朽化しているので、計画的に更改してほしいという御意見です。回答案では、設備の老朽化について御不便をおかけし、申し訳ございませんと述べた後、体育施設全体で計画的に修繕、更新を行ってまいりますとしております。

22番、どこの小学校の体育館に卓球台が何台、バドミントン設備が何セットあるかなどを公表してほしいという御意見です。回答案では、設備の周知、充実を進めてまいりますとしております。

パブリックコメントの回答案についての説明は以上です。

田中会長

ただいま事務局からパブリックコメントに対する検討結果の御説明をいただきましたけれども、皆様から何か御質問等ございましたら、挙手をして、お名前を言ってから御発言お願いいたします。

長谷川委員

御説明ありがとうございました。短時間でいただいたフィードバックを読み込んで、計画への反映の部分についてどうかという、この場でお答えするのがちょっと難しいなと感じている部分は正直あるんですけれども、第1印象として、非常にこれだけ多くの、人数にしたら6人かもしれないんですけれども、すごく貴重なフィードバックというか、たくさんの御意見をこの計画に対して、いただけたんだなという印象は受けました。

その受けたフィードバックに対する、フィードバックしてくれた人への返しとして、少なくとも計画に反映させていただきましたみたいな対応が含まれる回答というんですかね。それがもう少し多いほうがフィードバックする側の気持ちに立つと、言ってよかったなという気持ちになれるかなという印象は受けたところで、これは書き方の問題なのかもしれないですけど、言い回しだけ修正して、収めましたというよりも、いただいたフィードバックを内部で検討して、計画に反映させていただきましたと言っても良かったほうが、ああ、言ってよかったなという気持ちになれるかなと思いました。

そこが本当の意味で言い回しの修正だけで済んでいるのか、それとも、やっぱり計画にちゃんと盛り込むレベルで反映していくのかというところは、もう少し読み込んで、どうすべきかなというところを見たいなと思ったんですけれども。一生懸命追いつこうとしていたんですけど、なかなかちょっと難しいなと。

例えば20番で、「維持」とされているところに違和感を感じますみたいなところは、これは資料3の一覧から見ると、盛り込んでもらえなかったのかなというふうに見えるんですけれども、個人的には、ああ、そう感じられたんだなというところから踏まえると、改めてこの資料を見直してみると、確かに「維持」と言われるとなというのと思うところで、数値的には、高い指標に向けて、上げた目標を示しているのです、これは表現の問題だけかもしれないですけど、「維持」じゃなくて、「向上」なのか、「評価指標」。確かにこれだと、今の環境を現状維持することで目標にしようとしているんだなというふうに捉えられるというコメントをいただくのもすごく分か

る気がするので、何という言葉がいいのか思いつかないんですけども、例えばこういうのも計画への反映があってもいいのかなというのはちょっと思ったところです。

あと、コミュニティのところをすごく大事にしていたと思うんですけども、そのスポーツを通した地域づくりみたいなキーワードですかね。ここもすごくフィードバックをいただいて、ああ、確かになと思うようなところがあって、ここの部分を前面に出すというのはすごく賛同できる場所とか、共感できることなので、確かに同じようなことを言っているということでの回答になっているのかもしれないんですけども、せっかくこうやってワードにしてまでいただいているので、何かしら違う形で計画に反映してもいいレベルのフィードバックじゃないかなというのは個人的に思いました。

パッと今、挙げられる気づきとしてはそれぐらいなんですけど、やっぱり読み込んでいくと、ああ、確かになと思うところがあるので、もう少し計画への反映のところを、せっかくフィードバックをこれだけいただいているので、考えていきたいなというのは思ったところです。

中島課長

長谷川委員、どうも御意見ありがとうございました。今言っていた、もうちょっと読み込んでというようなお話もございましたが、まずは20番の御意見とか、地域づくりの文言とかそういったところの修正につきましては、場合によっては、最終的には会長と調整させていただいた上で、中のほうは検討したいなというふうに考えます。

長谷川委員

ありがとうございます。数だけで言うのもあれですけど、24件のフィードバック中、この数字で見ると8件なんですよね。8件しか反映されていないみたいな捉え方もできてしまって。なので、これは別に、数の出し方なのかもしれないんですけども、やっぱりフィードバックいただいている内容からも、これだけすごく丁寧にいただいている内容からすると、それでいいのかなと思うところはあります。

せっかくフィードバックしているのに結局聞いてもらえないなという印象を持たれたくない気がするんですけどね。

中島課長

すみません。多分、今おっしゃられたのは、8件というのは資料3の右側のパブリックコメントの意見番号を数えられて、8件ということでおっしゃられたのかなというふうに思っています。一つ一つの回答については、今、説明したとおりの内容で、一応反映できる部分については、できるだけ反映したいというような長谷川さんのお気持ちは、我々事務局としても、同様の考えを持って、こちらのコメントを見させていただきました。その結果として、今、こういった結果にはなっているようなところでございます。申し添えます。

田中会長

皆さんのほうからも何かそのほかございませんでしょうか。

今、長谷川委員からも御意見がありましたけれども、パブリックコメントの結果に対する結果ですね。今のところを一生懸命、皆さんが書いてくださっているのに、ちょっと紋切り型で答えているようなところもあるのではないかみたいな感じもしないではないということなので、確かにこういうものに対して、どのように回答するのかというのは私もよく分からないんですけども、丁寧にするのであれば、やっぱり意見に対して少し説明を加えて、こういうところはこういうふうに入っていて、おっしゃられる部分は、ここに反映されますとか、そういうふうな回答をしていただけると、一生懸命コメントされた方も納得できるんじゃないかなみたいな気がいたしますね。

というのは、例えば10番のところを見ていただくと、ジェンダーやリプロダクティブヘルス・ライツとか、女性の問題とか、そういうことを一生懸命話しているんだけど、性別を問わずやりますよということなんですけれども、御指摘いただいた点は大変重要な観点であって、そのような言葉を使ってはいないけれども、計画書の意図としてはそういうことを十分に含んでおりますので、そういう文言を少しだけ加えるとか、そういうふうな対応をしたいとか、そういうようにちょっとずつ、1個1個、もう少し丁寧にしていればいいんじゃないかな。

そして、それを大幅変更はできないと思うんですが、骨幹があって、そういう細かいところをちょっとずつ加えながらしていくと、皆さんの御意見や考え方も反映されたようなものになっていくの

かなというような気がいたします。この辺はちょっとだけ考えていただければいいかなと思います。

答えも少し、こちらも一生懸命、パブリックコメントを寄せていることに対して、考え方は大分まとまっていると思うので、少し丁寧に回答されたら、余計に、また次もいろんな意見を言ってくさるんじゃないかなというようなことを思いました。

中島課長

今、会長から、各質問に対して、もう少し丁寧な回答をとということで、我々も全ての意見がすごく貴重な意見だなというふうに認識しております。全ての意見が、ある意味、そういった御指摘は重要な部分であろうかなというふうにも考えております。そういった内容を全ての意見に重要だということはちょっと書き切れないですけども、もう少し丁寧な書き方をというようなお話もありましたので、この点につきましては、全ての回答をもう一度見直しまして、また、その文言の修正の程度につきましては、会長と調整させていただいた上で変更させていただければと考えております。

大幅な趣旨が変わるようなことにはならないと思っておりますので、その点の文言の修正については委員の方に御了解をいただければと考えております。

田中会長

ありがとうございました。先ほどちょっと出ていました、スポーツ施設利用者の目標値、「維持」という。「維持」という言葉だけ見ていると何か、ああ、そのままでいいのかということなんだけど、あれは高いところの水準で行くということをやって、この中でできるのかみたいなこともあった議論で、維持という書き方をしたと思うんですね。

ですから、そういう、パッと見ると、「維持」だけしか残っていないわけですから、そこのところ、ちょっとだけ説明をしてあげると、あれは、「維持」という、さっきちらっと言っていたんだけど、維持するのは実はものすごい大変なんだよというような、文章とか何か、このパーセンテージがすごいことなんだということをちょっとだけ文章に、一、二行というか、文言をちょっと入れるだけで理解されることになるかもしれないので、その辺みみたいなところをちょっとだけ掘り下げて、整理してあげると、一生懸命いろいろ、市もみんなも委員会も考えているんだなみたいなことになるんじゃない

ないかなと思います。

時間をかけて、いろいろつくって、一つ一つを見てきたわけだから、そんな大筋では変わってはいないし、変わることもないだろうし、必要だと思います。だけど、少しだけ対応してというか、こういうことを言っているんだからということに対して、一応こういうところは考えているけど、ちょっと手間がかかりますけれども、回答の骨格はできているので、それに対して反対はないと思うんですけど。少し読み込んでもらって、やればいいかなという気がします。

中島課長

田中会長から御意見頂戴しました、意見20番の「維持」につきまして、説明のほうでちょっとだけ補足させていただきますと、実施率が上がっていくのにもかかわらず、スポーツ施設の利用者数が「維持」となっているという。やっぱりそこに差があることに違和感を感じていたということにつきましては、スポーツの実施率はスポーツ施設で行うだけではないということを一応、説明文としてうたわせていただきました。そのために、実施率というのは徐々に上がっていくように目指していきたいということで、目標値を設定しております。

ですから、スポーツ施設につきまして、やっぱりキャパシティの問題であったりということを考えますと、今の現状の数値を見ていくと、60万人というのは非常に大きな数字になっておりますので、その部分については高い目標を常に持って進めていきたいというような思いで、「維持」という言葉を使わせていただいております。そこについては、今回の回答文のほうには書き切れておりませんので、その辺につきましては、またこちらも会長のほうと調整させていただければと考えております。

服部委員

全般を通じてですけども、資料2と3というのは、ウェブ等でこのまま公開される予定ですか。

津田主任

はい。

服部委員

そうしましたら、例えば資料2の表を見たとき、要するに、検討結果がどうだったのかというのはちょっと分かりにくい。なので、

これは提案ですけども、幾つか回答のカテゴリーをつくっていただいたらどうかと思うんですね。例えばいただいた意見に対して内容を修正します。そういう項目とか、一部表記、記載を変更しますと。それから、御意見は承りましたが、掲載は拒否しますですとか、課題として、今後、引き続き検討いたしますとか、4つぐらいにカテゴリーを分けて、内容を修正するところはここです。表現を変えるところはここですと、分けて回答されたら、見た方も分かりやすいかなと思うんですけども、このほかにもいろいろパブリックコメントをやっておられると思いますけども、そのほか、回答しなかったみたいなの、そういうふうに分けられたりということはやられていた部分はあるんですか。

津田主任

この資料2のフォーマットは、市全体でパブリックコメントの検討結果を発表するときの共通の定型のものです。今、服部委員がおっしゃったような、検討結果の最後にどういう対応をしたかを記載する形式は、ほかの自治体のパブリックコメントの事例であるようです

服部委員

そうですね。私も、例えば政府がいろいろ法律を変えるときに、パブリックコメントを見たときに、たしかそういうふうに分類していたと思うんですね。質問の内容も幾つか複数の質問が入っている場合がありますから、この質問に対してはこうです、この質問に対してはこうですと分けて回答したほうが分かりやすいのかなと思いましたが、もしできるようでしたら御検討いただきたいなと思います。

中島課長

回答についてのカテゴリーも、国などの大きな計画では私も見たことがあります。ですが、どちらかといえば、カテゴリー分けというよりも、そもそもが計画の本体がもう既にそういうカテゴリーが順番で出てきていて、その順番で回答されているというような形にもなっているような気が私はしているんですけども、今回、御回答、今の状態では24件という長い御質問に対して、特段細分化はしていないような状況で、今、24件という形になっているんですけども、24件のものを今のように分けて出すのが読みやすいのか、それと

も、例えばこちらの計画書を見ながら、どこが変わったんだろう、この人の意見はどうなっているんだろうというのは、実はこれはページの若い順番に並べていますので、そういった面からすると、上から見ていけば、全て24個、見ていただければ、それがどういふふうに反映されているのかというのが分かりやすいような状況には今、整理してございます。どのような形でというか、一般的には市の方式でやりたいとは思っているんですけども、服部委員の最後のほう、多岐にわたる質問に関しては、もうちょっと分けて回答したほうがいいんじゃないかというような御意見などは検討してみたいと思いますので、こちらに関しても、全体的な回答内容は恐らく変わらないと思いますので、そこも会長と調整させていただいて、つくらせていただきたいと思いますと思っています。

田中会長 こちらのスポーツ推進計画案と、この資料3は対になっていますけれども、事務局のほうから、2つの資料3と資料4のことについて、何か補足の説明とか何かありますか。特に。

資料3を基に資料4を訂正しましたということですよ。それで、そのことについて何かコメント、こういうところは非常に丁寧にやりましたとか何かありますか。

津田主任 一番大きいところは、資料3の8で、パブリックコメントでいただいた御意見で、さまざまな年代や属性の方にとっての運動・スポーツの重要性やアクセスのしやすさ、運動・スポーツを通じた地域のつながりについて複数の御意見があり、それらを広く含んで書いております。

田中会長 そういう今のようなコメントをこちらのパブコメの中にぺろっと入れるというのはどうなるんですか。

津田主任 回答を一つ一つ見直して、丁寧な回答をする中で、そういったコメントも入れていきたいと思っています。

中島課長 資料3と資料4もというようなお話もありましたので、資料4について申し添えますと、パブリックコメントのときには、実際はこういった写真などは入れない形で、今回、意見募集をかけています

が、最終的には今日お手元に配付したような形で公表はしてまいりたいというふうに考えておりますので、皆様、御覧いただければと思います。

田中会長

そのほか、ございますでしょうか。

よろしいですか。それでは、いただいた御意見を踏まえまして、パブリックコメントの対象及び計画の改修案ですね。ここを取りまとめて、教育長のほうに3月に答申したいと思っておりますけれども、この修正につきましては、事務局と私のほうで話し合いをして、最終的な案を取りまとめたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

田中会長

はい。それでは、パブリックコメントの回答案と最終案を取りまとめてまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、(2)の議事、スポーツ推進計画の策定については終わりましたので、その他ということで、委員の皆様から何かございますでしょうか。

事務局からは何かございますでしょうか。

中島課長

特にございません。

田中会長

特にないようでしたら、本日の議題は全て終了いたしました。

これをもちまして、大変早いですが、令和4年度第6回スポーツ推進審議会を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

— 了 —